

DSM、第 2 四半期決算を発表

ライフサイエンスとマテリアルサイエンスの両部門が好調で、2 億 9300 万ユーロの EBITDA を達成

- 2014年第2四半期では、継続事業の金利・税金・償却前利益（EBITDA）は2億9300万ユーロを達成
- 2014年第2四半期のEBITDAのうち約2900万ユーロは為替損であり、約1600万ユーロはスイスのニュートリション工場で発生した火事の影響によるもの
- ニュートリション部門のEBITDAは、2億2200万ユーロで、前期、前々期から増加
- パフォーマンスマテリアルズ部門のEBITDAは、8800万ユーロで、前年同期及び前期と比べ増加
- 第2四半期の営業活動によるキャッシュフローは1億2600万ユーロ
- 普通株 1 株あたりの中間配当は0.55ユーロ
- 2014年通年では、現在の市場予想に沿った内容になる見通し

ライフサイエンス及びマテリアルサイエンス企業である DSM 社は、2014 年第 2 四半期の継続事業の金利・税金・償却前利益（EBITDA）が 2 億 9300 万ユーロ（前年同期：3 億 3200 万ユーロ、前期：2 億 7200 万ユーロ）であったと発表しました。ニュートリション分野では前期、前々期に比べ増加し、パフォーマンスマテリアルズ分野では有望基調を継続して高い業績を上げました。ポリマー中間体関連分野はカプロラクタムの低調による影響を受けました。

DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma（フェイク・シーベスマ）のコメント；

DSM は通貨関連の逆風が続いているにもかかわらず、第 1 四半期と比較して好成績を収めました。

パフォーマンスマテリアルズ分野においては、エンド・マーケットにおいて活発な動きが続いている一方で、ポリマー中間体関連分野ではカプロラクタムの低調が続いています。ニュートリション分野の市況は、エンド・マーケット向けのヒューマンニュートリション分野が個人消費の低調の影響を受け続けている一方で、アニマルニュートリション分野が好調で、全体として改善の兆しを見せています。このような環境の中でも堅調に利益を上げていることは、ニュートリション事業のクオリティの高さを証明しており、また、当社の一貫したバリューチェーンの回復力を明示しています。さらに、当社はエンドユーザー向けの栄養補助食品の魅力を増大させるため、米国で新たな取り組みを行っています。

DSM では、引き続き収益性を確保し、現在の環境に対応しながらキャッシュフローの改善を目指します。カプロラクタムの低調は続く見通しですが、DSM は今後数四半期において財務実績が向上することを期待しています。

本リリースに関するお問合せ先

ディー・エス・エム ジャパン広報事務局（アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内） 担当：水谷、新井
TEL：03-5575-3221 / e-mail：atsutake@w-az.co.jp（水谷）、miho@w-az.co.jp（新井）

ディー・エス・エム ジャパン 株式会社 担当：大木
Tel: 03-5472-1866 / e-mail: Nahoko.ohki@dsm.com

<参考資料>

■ DSM2014 年第 2 四半期業績ハイライト

高度経済成長市場：“手を差し伸べる”から“真のグローバル”へ

高度経済成長市場での売上高は、2013 年第 2 四半期の 39%に対し、2014 年第 2 四半期では 42%に達しました。中国での売上高は、カプロラクタムの第二設備による生産能力増加による効果を大きく受け、前年同期 3 億 9500 万 US ドルから、今期 4 億 8700 万 US ドルへと増加しました。また、北京の南に位置する霸州にチャイナアニマルニュートリションセンターを開設しました。動物飼料用栄養素における世界トップクラスの研究能力を保有しており、中国で急成長中の畜産(豚、鶏)市場を、ニーズに合わせたソリューション開発でサポートします。

イノベーション：“製品をつくる”から“イノベーションを倍増させる”へ

2014 年上半期におけるイノベーションによる売上高（過去 5 年間に導入されたイノベーションを軸とした製品やアプリケーションの売り上げとして測定）は総売上の 18%となります。これは 2013 年の上半期における数字と等しく、DSM が 2015 年に掲げている 20%という目標に近い数字となっています。

<イノベーション事例例>

- 世界初の吸気冷却機能を持つエアークマニホールドを実現した高耐熱ポリアミド 46「Stanyl® Diablo」
- 果汁を最大限摂取するためのフルーツ酵素「Rapidase® Pro Color」
- ステビア植物に含まれる甘味分子“ステviol配糖体”を発酵させた強力甘味料。安全で安定的な供給ができ、混じりけのない味を実現します。
- より付加価値の高いチーズ生産を助ける新たな凝固剤「Maxiren® XDS」

サステナビリティ：“責任”から“ビジネスドライバー”へ

怪我や事故が発生しない労働環境を整えることは、DSM の目標です。DSM は、2020 年までに、負傷頻度指数を 2010 年から 50%以上削減する目標を設定しました（2010 年の指数：0.57）。2014 年上半期の終わりには 0.43 を達成しています。

また、イノベーション・パイプラインにおけるエコ・プロダクツのシェアは、2015 年で 80%を目標としていましたが、2014 年上半期の時点で 90%を優に上回りました。事業経営におけるエコ・シェアは、2014 年上半期において、2013 年の 45%をわずかに上回り、2015 年に 50%を達成するという目標に向けて順調に歩んでいます。エネルギー効率では、2008 年から 2020 年にかけて 20%の向上を目指している中、2014 年の時点で 16%向上を達成しています。CO₂ 排出量は、2008 年から 2020 年まで 25%削減することを目標としており、現在、7%減少させています。

なお、インドでは、Ranjangaon 地区にある工場の隣接地に 1 MW の太陽光発電設備を建設しました。

買収&提携：“ポートフォリオ転換”から“集中的発展の原動力”へ

香港を拠点とし中国本土でビタミンCを生産するAland社を買収することに合意しました。トランザクションは今後 6 ～ 9 か月で完了する見込みです。

また、オランダを拠点にカーペット産業向けの持続可能なソリューションを提供する Niaga 社とともに、リサイクル可能なカーペットを目的とした持続可能な技術を商業化するために、合併会社「DSM-Niaga 社」を設立しました。

DSM-Niaga 社は、独自の補完技術をベースに、カーペットの材料をリサイクルすることを可能にします。

■ 2014年の展望

DSMは厳しいマクロ環境の中で、基礎的なビジネスパフォーマンスを伸ばすことを目標としています。7000万ユーロ相当の為替レート変動による悪影響とカプロラクタムのサプライチェーンの弱さにも関わらず、DSMは市場の期待に応えていきます。

DSM – Bright Science. Brighter Living.TM

DSM 社は、科学をベースとして健康、栄養、材料分野で活躍しているグローバル企業です。ライフサイエンスとマテリアルサイエンスにおける独自の技術を組み合わせることで、経済的繁栄、環境問題への取り組み、そして社会の発展を促進し、DSM と関わる全ての人々にとって持続可能な価値を創造します。また、DSM は食品や栄養補助食品、パーソナルケア、飼料、ファーマシューティカルズ、医療機器、自動車、塗料、電気・電子機器、ライフプロテクション、代替エネルギー、バイオ素材などのグローバル市場において、顧客企業の業績向上・維持に貢献できる革新的なソリューションを提供します。年間の純売上高はおよそ 90 億ユーロで、NYSE Euronext に上場しており、社員数は 24,500 名です。

詳細については www.dsm.com をご覧ください。

* 本リリースは 2014 年 8 月 5 日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

将来予測に基づく記述

本プレスリリースには、将来予測に基づく記述が含まれています。これらの記述は DSM 経営陣による現時点での期待、推定、予測、および現時点で当社が入手可能な情報に基づいています。これらの記述には、予測が困難な特定のリスクと不確実性が含まれることから、DSM はその予測の実現については保証しません。また、DSM は本プレスリリースに含まれる記述を 更新する義務を負いません。